

出会うの扉

このコーナーでは、市内で活動している団体・サークルを紹介します。広報紙でPRして活動の輪を広げ、仲間を増やしてみませんか。掲載希望は市民広報課まで（☎65-6504）。
※営利や宗教・政治・選挙を目的とするもの、限られた地区の住民が参加する活動や団体などは掲載できません。

団体名 長浜そば遊優くらぶ

〈代表〉平居 源太郎さん
連絡先：木田 敦さん(☎63-7064)

活動場所 そば工房源（新栄町）

活動日時 第3水曜日 10時～14時



活動PR

私達は、「そば」をこよなく愛し、手打ちそばを楽しみ、そば打ちを通じて、人の輪（和）を広げることを目的に活動しています。地元産のそばの実を挽きたて・打ち立て・ゆがきたて・皆でワイワイと美味しく食べながら相互の親睦と啓発を図っています。

活動日にお寄りいただいた方には、そばを召し上がっていただいております。また、老人会・子ども会・公民館活動などお声掛けいただきましたら、ボランティア活動に出かけます。ぜひ、お声掛けください。

6月6日(土)、7日(日)

秀吉公の描いた情熱と活気がよみがえる

長浜に息づく歴史や文化を発信し、城下町のまちづくりに取り組む人たちの情報交換の場にしようと、昨年引き続き行なわれた「近世城下町ふるさとまつり」。

長浜火縄銃大会で幕を開け、市街地一帯では戦国時代の衣装を身にまとった武者・姫たちが練り歩く「武将パレード」、特別メニューが楽しめる「楽市楽座&秀吉バル」、コンサートやまちづくり交流会などが催され、多くの見物客でにぎわう2日間となりました。



6月7日(日)

持てる力を出し切って 記録への挑戦

第27回長浜市陸上競技大会が浅井ふれあいグラウンドで開催され、小学4年生から65歳まで620人が参加しました。

競技種目は、短距離走から長距離走、走り幅跳び、走り高跳び、砲丸投げと多種目にわたります。選手たちは日ごろの成果を存分に発揮しようと、本番前に入念に準備。競技前の緊張の面持ち、レース中の懸命な表情、力を出し切った後のすがすがしい笑顔、それぞれが印象的で、観る人に大きな感動を与えました。

6月11日(木)

生きがいにつながる活動 続けて10年

びわ地域で認知症予防活動に取り組む、脳いきいき音楽グループ「ひばり」が創立10周年を迎え、記念となるつどいを開催。講演ではこれまでの活動を振り返り、音楽による健康への影響について学んだほか、手の動きを交えて行われた合唱では、参加者全員が一緒になって盛り上がりました。

会員の一人は「落ち込んでいた時期があったが、グループに誘われメンバーと家族のように過ごすことができ、たいへん楽しく感謝している」と活動の意義を語りました。



6月13日(土)

香りを楽しむ 癒しのひととき

ハーブの魅力を伝えようと、愛好家サークル「みずラベンダー」が、宮司町の畑で「ラベンダーまつり」を開催しました。

やさしい香りに包まれた会場には、ラベンダー約20種類、ほかにも数十種類が栽培。ハーブの種類や特徴、効能についてスタッフから説明が受けられるほか、ハーブを使ったクッキーやパン、無農薬ハーブティの販売、ラベンダースティックを作る体験教室なども用意され、訪れた人たちは思い思いに楽しみました。

6月7日(日)

子どもから大人まで楽しめるお茶会

地域の特産品「己高茶」をPRし、お茶の心を多くの人に知ってもらおうと開催された新緑茶会。毎年春と秋に己高庵茶室運営委員会が開催しています。

茶会では、裏千家淡交会滋賀支部のメンバーがお点前を披露し薄茶が振舞われたほか、お茶の体験コーナーも設けられ家族連れらは自分で点てたお薄を味わいました。また外の茶室では高時小5、6年生が地元の新茶でもてなし、茶室内の掛け軸や生け花の説明、古橋に残るお茶の言い伝えなどを紹介しました。



6月7日(日)

先人の偉業から学ぶ

度重なる余呉川の氾濫から村を守ってきた先人たちの偉業を讃える、恒例の「西野水道まつり」が高月町西野で開催されました。

西野水道は先人たちが、約170年前に洪水を防ごうと5年がかりで西山の麓を250m掘り貫き完成したものです。まつりでは石工や村人に扮した時代行列が練り歩いたほか、水道通り抜け、紙芝居や石工体験、古保利小5年生による「水道劇」が行われ、参加者は楽しく地域の歴史を学びました。